

☆4年生が「山の学習」に行ってきました！～倉敷市自然の家～



ウォークラリー



入所オリエンテーション



焼き杉



「焼き杉」で使った道具の片付けられた様子

何も言われていなくても、向きをそろえて使った道具を片付けています。



キャンプファイヤー

まず、最初のウォークラリーの時は、あるハプニングがあり、私自身あまりにショックすぎて泣いてしまいました。でも、グループの人がはげましてくれて、気持ちを切り替えて、集中してがんばることができました。

次の焼き杉は、協力して火をおこすことができました。みがく時も、グループでアドバイスをしながら、きれいな木のかざりができました。

これからも山の学習で学んだ協力や、静と動、あいさつ、10分前行動、5分前集合などを気をつけていき、体になじませたいです。

4年生児童



暗夜行路

山の学習を終えて、ぼくは、協力の大切さを知りました。ウォークラリーでは、みんなで声をかけ合って問題をといたり、暗夜行路では、あぶない所を伝え合ったりすることによって、協力の大切さが分かりました。自然のことも、ぼくは知りませんでした。山にはイノシシや秋に刺されやすいハチがいて、いろいろな花がさいていました。ぼくが成長したことは、切りかえです。どうしてかという、山の学習では、動と静の切りかえが多かったからです。時間の大切さも知りました。

4年生児童

山の学習に向けて、スタンツの出す声をさらに上げて限界をつくらず、そして、その場に合った返事やあいさつをすることを努力しました。遠くにいる人にも100mごしのあいさつ力で、にこにこ笑顔で気持ちを伝えることも努力しました。スタンツの神の役は、細部はできていなかったこともあるけれど、これからもふり返るときには、具体的な細部のことまでやって、自分を成長させていきます。キャンプファイヤーのスタンツで自分に克って、空気に克つことを努力しました。ほとんどの人が一人の百歩より、みんな一歩を大切にしながら、支え合って動で取り組むことができました。

4年生児童